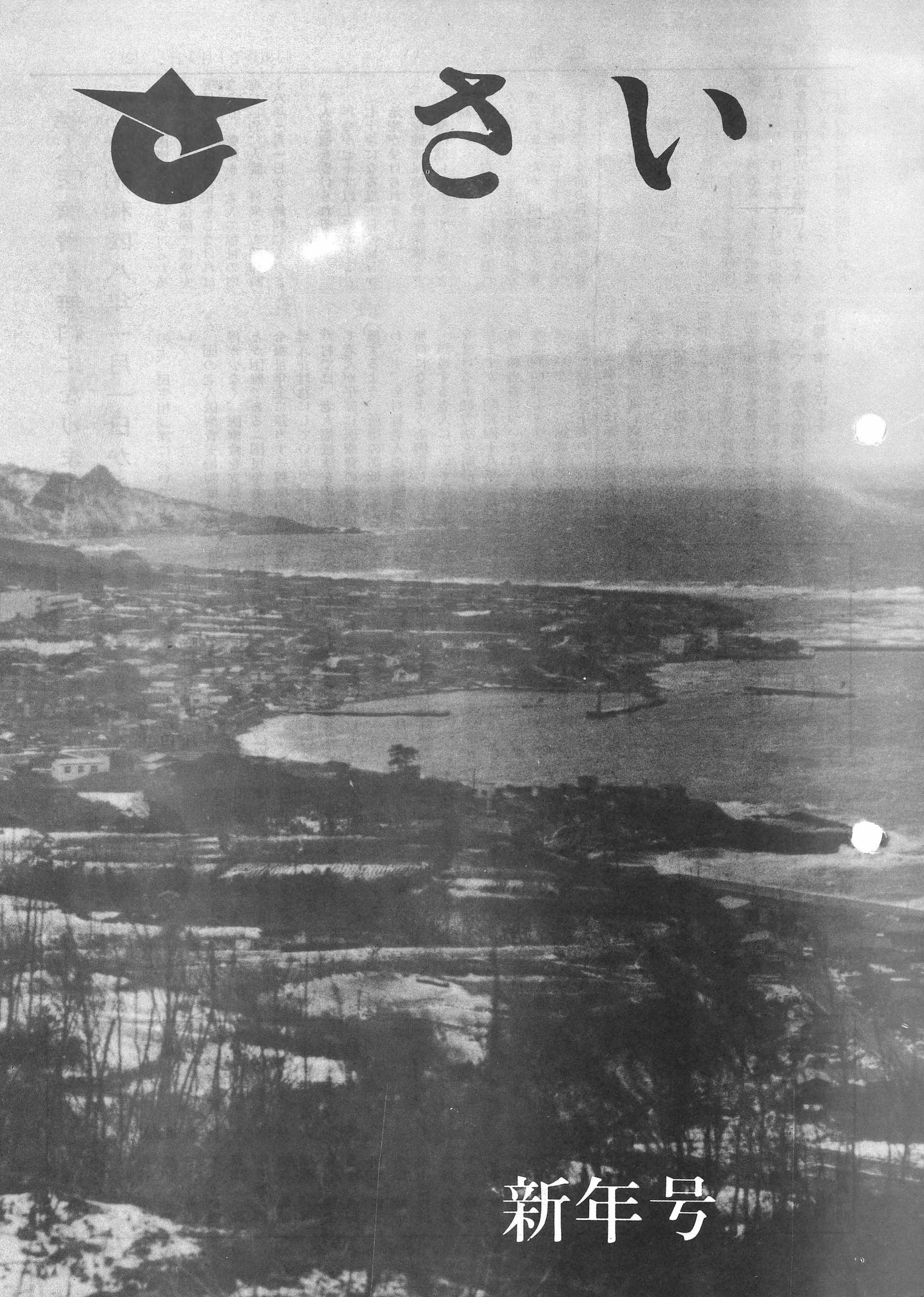


よさい



新年号

老人医療費が無料になります

昭和四十八年一月一日から

老人が医療を容易に受けられるようにする為、医療保険で医療を受けた場合自己負担をしなければならぬ費用を、老人の福祉の増進を目的に入院、外来とも昭和四十八年一月一日から無料になります。

老人医療を受けられる人

- 1、年齢が七十才以上であること（七十才になる誕生日の初日から治療が受けられます。）
- 2、国民健康保険や健康保険などの医療保健に加入していること

1、明治三十六年一月以前に生れた人は、十二月中に受給者証が渡されましたが、明治三十八年二月以降に七十才になる人は、七十才になる前の月に印鑑持参

の上、民生相談課において下さい。

2、国の老人医療費支給制度は所得が少なく、医療費を支払うことが困難である（国民年金の老令福祉年金に該当する程度の人）を対称にしていますが、佐井村では、老人福祉法を尊重して老人が平等に医療費の恩恵に属するよう、所得の高低にかかわらず、全対称老人の医療費が無料になるよう条例化しました

3、該当する老人については医療を受ける手続方法を明示しておりますが、昭和四十八年二月以降の該当者については、その部度でご説明致します。疑問な点がございましたら遠慮なく民生相談課に問合せ下さい。

赤十字社会

増強運動について

日本赤十字社は、「人道」と、「博愛」をモットーとする奉仕団体で、社員と篤志家によって結成されており、日本赤十字社法の保護を受け国際的な組織にもつながっています。

日赤の事業は国際条約で決めら

社員の種類

社員	毎年参百円
銀色特別社員	壹万円
金色特別社員	参万円
銀色有功章	壹十万円
金色有功章	二十万円

前記の額は昭和四十六年四月一日から改正となりました。

しかし、改正前に加入している社員は旧額のままで完納すれば資格が与えられます。

一世帯で一人は必ず参百円社員になり、赤十字事業の推進にご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、日赤佐井分区では二月一日から昭和四十八年度社員増強運動を展開いたします。

ことしの当分区の目標額は十五万七千四百円です。

近く部落総代、民生委員、行政連絡員（日赤協委員）等の奉仕者が毎戸を訪問しますので、みなさんのご協力をお願いします。

（日赤佐井分区）

昭和48年度

赤十字社員増強運動にご協力を!!

（目標額 157,400円）

よびくれた川

佐井小四年 山崎嘉子



夏の終りごろ、私はお母さんのお

ついで買物に出かけました。

川のそばを通ったら、どこかのお母さんらしい人が、川でたくあんを二十本ぐらい大きなかごに入れて、じゃぶじゃぶ洗っていました

私は、黄色くてとてもおいしうに見えたので、立ち止まって見ました。すると、十五、六本ぐらいのたくあんを川へどんどん投げ始めました。

私はなぜか、はつと、気がつきました。こんなことで川がよごれていくのだと思いました。

その時、女の人は、たつた三本をかごの中に残して、さつさと川を去っていききました。私は、ずいぶんむせきにんなおとなだなあと、思ってしまった、川を見ながら歩きました。川の色はどことなく、にごって見えました。

今度は、大きなスイカを二つにわつた物が投げられました。

ゴミの回収が、無料で回つてくれないのでしょうか。

はこに入れて出すのが、めんどくさいのでしょうか。

私は去年鉄の橋の上から川の

謹賀新年

村長	松谷 清治
助役	宮川 年晴
収入役	三戸 重蔵
議会議長	石沢多佳樹
副議長	東出 昇
総務委員長	奈良兼太郎
文教厚生委員長	樋口 忠義
産業経済委員長	横濱 清
土木建築委員長	松沢 勝雄
議員	西村 福男
"	川畑 寅吉
"	吉田 順一
"	田中徳太郎
"	内藤 清美
"	大畑 勝義
"	奥本 文男
"	長後 雄二
教育委員長	品田 素一
"	石沢 遵二
教育長	委員 一同
選管委員長	樋口 秀次
委員	委員 一同
監査委員 一同	
公平委員長	若山 直衛
農委会長	委員 一同
診療所長	奥本 文男
齒科診療所長	委員 一同
	馬周 武
	吉永 介男
	村職員 一同

中を見た時アユが川のごれの中、元氣よく泳いでいるのを、お母さんと一しよにみていました。でも、今年はいくら見つけようとしても、一ぴきもみあたりません。あのだくあんのおいをかいだりいろいろのごれものが、すてらされているのでは、アユだつてたらなくにげていくにちがいないと思います。

家へ帰つてお母さんに、たくあんの話をしたら、お母さんは、「自分達の川なのに自分達でよすなんて、ほんとうにこまつた人達だね。新聞の注意だけでは、だめね。何かいい思案がないかな」といいました。私はいろいろ考えてみました、なかなかよい考えはうかびません。しばらく考えて、私はこんなことを思いました。役場の人にお願ひしてみたいと思いましたが、そんな勇氣はちりません。でも、役場の人達に

「村の人々は、川にぜつたい物をすてないでください」と、注意をよびかけてもらいたいと思ひます。それでもすてる人には、きびしいきそくをつくつて、みんな川をきれいにしていきたいと思ひます。

そうすると、川によつたものをすてる人は、少なくなつて川の水もきれいになり、すんだ水が流れていくことでしょう。川の水がきれいになるためには

村の人々の協力と、ゴミをあつめて下さつてゐる係の人の協力が、大切だと思ひます。

とくに、毎日、ゴミを回収して下さつてゐる運転手さんの仕事が多くなつてたいへんだと思ひますが、みんなのため、佐井村のためがんばつて下さい。

よつた川をみんなの力で、きれいなきれいな川にしていきたいましよう。

保健婦だより

冬とお年寄り

▽夜寒をかばおう

「頭寒足熱は健康のもと」といって、頭を寒風にさらしてゐる人もありますが、お年寄りになると脳の血管もかなり硬くなつてゐるので、寒さにあうと、血管が縮んで血圧があがり、寒い戸外に出たときに、たおれることもありまう。冬には、帽子、手袋、えり巻きを忘れないようにしましう。

▽小さなことに注意したい

季節のかわり目には、カゼをひかない工夫をしましう。それには、できるだけ、人ごみに出ないようにし、カゼをひいてゐる人のそばにいかないようにしましう。気温にあわせてこまめに衣服の調節をしましう。へやの掃除のときは、他のへやにうつりましよう。

新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。

年頭に当り謹んで、みなさまの御多幸を祈念いたします。

昨年は、大きな災害に見舞われず経過したことは、誠に同慶に堪えません。この間、一億五千万円を投じたセンター、庁舎を完成し常備消防分署の設置、佐井地区簡

足が弱つてゐるので、階段からころげおちたり、つまづいてころびやすく、手足や腰などの骨折もしやすいのです。

家の中のスキイなど、ちよつとした高低のあるところや、すべりやすい廊下、階段などころびやすいものです。冬は、とくに着ぶくれで動作が不自由ですから、家人も氣をつけたいものです。

お年寄りの健康にストツプをかけるのは、決して大きな病氣ではなく、カゼ、単純な下痢、小さなケガなどです。

▽冬の入浴

急に、あたたかいたところから寒いところに出たり、また、その反対の気温、室温の変化にさらされることは、血圧の急な変化がおこるので、さけたいものです。そのため、冬の入浴には、よ

村長

松谷 清治

易水道設備の改修、第四種漁港（一億円余）の改修等を実施できました。又、原田漁港の着工により沿岸主要地区の整備計画も、全漁港に漏れがなくなりました。

しかし、道路の改善、へき地医療対策には、予算額執行は出来ましたが、実効が現れず残念です。今年、これ等の反省に立ち生産

新年のあいさつ

佐井村議会議長

石沢多佳樹

昭和四十八年の年頭にあたり、佐井村議会議を代表しまして、ついで新年のごあいさつを申し上げます。

風呂の温度は、あつすぎないようになしませう。浴槽に入る前には、十分かけ湯をして身体をお湯にならします。浴槽には、静かに入りはじめから急に、肩までつからないようにします。心臓の下あたりまで、まず、つかり、そのあと静かに、肩までつかりましよう。長場や、上りぎわに水をあびることとはさけましよう。また、湯ざめをしないようにしましう。

▽腹八分目を守りたい

食物は、全体にうす味にし、野菜、海藻も充分とり、一日一本牛乳をとりたいたいものです。油は、植物性のものをつかいましう。くれぐれも腹八分目を忘れないようにしましう。

ここに希望にあふれた新春を迎えるにあたり、みなさまがたのご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。おかげをもちまして、大過なく越年することができました。しかしながら、村民生活の安定、福祉増進を図るには今後幾多の重要問題が山積してゐます。これらを解決するために、関係機関と相まつて最大の効果の上がるよう努力する覚悟です。昭和四十八年こそ村政全般にわたり内容充実に努力を傾注する所存でありますからなにとぞ倍旧のご指導とご便達をお願い申し上げます。

成人おめでとう

十五日は「成人の日」です。おとなになったことを自覚して、みずから生きぬこうとする青年を祝い励ます国民の祝日です。ことし成人になられる方々は、昭和二十七年一月十六日から二十八年一月十五日までに生まれた男女ということになります。

佐井村では次の人たちがおとなの仲間いりをします。新成人者を紹介します。敬称略

尚、名簿もれ、又、現在他市町村に在住の方で、当日、佐井村での式典に出席したい方は教育委員会まで御連絡下さい。

- 〔古佐井〕石戸了、内田豊実、宮野正二、太田晴子、大沼勝利、奥本有子、奥本悟、工藤きみ子、黒沢亮、島野重喜、渋谷郁子、岡村照幸、竹内綾子、鳴海悦子、根戸内春良、八谷昌孝、横浜弘、若山節子、渡辺成子、若山すみ子、〔大佐井〕奥本美智雄、加賀恵美子、鹿島勝、鹿島藤子、金谷敏彦、畑中優子、東出繁、福田澄子、藤田和久、鹿島和子、長島一男
- 〔川目〕坪谷吉正、中村哲雄、真鍋多知雄
- 〔矢越〕館脇恵美子、館脇光雄、福田功
- 〔磯谷〕磯川光秋、東出竹子、福田はる、福田ふさ子、横浜美保子

〔長後〕池田美代子、内田哲子
〔福浦〕田中秀美、田中久太郎
田中孝子、田中照悦

〔牛滝〕荒川由美子、大畑昭明
〔野平〕鴨田輝雄

〔原田〕池田操、大水勇一、奥本さよ子、大橋敏子、鹿島猛、鹿島定弘、木部隆雄、佐藤実、井上洋子、万谷かの子

二十才になったら 国民年金へ

成人おめでとうございます。

これで皆さんも大人の仲間入りをしたわけですが、これからはいろいろな権利を得ると同時に、社会に対して義務と責任を果していくこととなります。

国民年金に加入することもその一つです。他の年金制度に加入していない人は、国民年金に加入することが義務づけられています。

国民年金に加入しますと、老令年金のほか万一の事故などの際に、障害年金や母子年金、遺児年金なども支給され、皆さんの長い人生を守ります。

今日からあなたは、自分の生活は自分でよく考えていかなければなりません。二十才になった日から国民年金に加入し、長い人生の生活設計をたてましょう。

加入の届は民生相談課国民年金係で受付けています。

郵便局からお知らせ

「明るい村づくり」に役立つ「簡易保険」

郵便局の簡易保険は、大正五年十月に国民のみならず「簡易で手軽にご利用いただく生命保険」として創立され、全国の郵便局でその取扱いが開始され、以来五十有余年みなさまからご愛顧をいただき、現在の加入件数は全国で四千六百万件、契約高十三兆円と大いに成長いたしました。しかし最近社会問題となっている公害をはじめ、交通事故など各種の災害による死傷者が増加の一途をたどっています。家族のだれかがこうした災害にあつて、しあわせがいっぺんに破壊されたという話が最近あまりにも多く聞かれ、みなさまの明るい暮らしを守る簡易保険の役割りはますます大きくなってまいります。去る九月一日から、万一の場合の保障を厚くし、事故災害死亡のときには、満期保険金の七倍の額をお支払いする「ニュークローバー保険」を発売しました。

この保険は、現代の交通事故をはじめ出かせぎ中の各種の災害等にそなえた高額の保障の保険として、人気を呼んでいます。また、簡易保険の掛金は、佐井村にも直接利用されています。学校建築、体育館、港湾施設、村営住宅、簡易水道等多額の簡易保険積立金の融資

こよみと行事

- 一日 名刺交換会(センター)
- 三日 ゴミ回収
- 四日 御用始
- 五日 出初式(古佐井大町) 小寒
- 六日 ゴミ回収
- 七日 七草
- 十一日 妊婦学級
- 十二日 家庭健康大学
- 十五日 成人の日、成人式(センター)、ゴミ回収
- 十七日 土用
- 十八日 冬期巡回診療(野平) ゴミ回収
- 十九日 家庭健康大学
- 二〇日 大寒
- 二二日 ゴミ回収
- 二四日 ゴミ回収
- 二六日 家庭健康大学(閉校式)
- 二七日 ゴミ回収
- 三〇日 ゴミ回収

完納で明るい
わが郷土

人口と世帯

2,382 人 帯
2,490 人 帯
4,872 人 帯
1,119 世帯
昭和47年12月1日現在

編集と発行

佐井村役場(総務課)

印刷

協同印刷

冬の両佐井

(表紙の説明)